

# 兵庫県サッカー協会 審判委員会 3級昇級競技規則テスト

サッカー競技規則 より

## I. 以下は、「第5条 主審」の職務と権限の一部である。

( )に当てはまるものを競技規則の文章どおり答えよ。

主審は、

- ( 1 )および( 2 )がいる場合はそれらの審判員と協力して試合をコントロールする。
- 競技者が同時に2つ以上の反則を犯した場合、( 3 )な反則を罰する。
- 警告または退場となる反則を犯した競技者に( 4 )をとる。主審は、ただちにこの処置をとる必要はないが、次にボールがアウトオブプレーになったときにその処置をとらなければならない。
- 関係機関に( 5 )を提出する。報告書には、試合前、試合中または試合後の、競技者あるいはチーム役員に対する懲戒処置やその他の出来事に関する情報が含まれる。

## II. 以下は、「第7条 試合時間」の空費された時間の追加についてのものである。

( )に当てはまるものを競技規則の文章どおり答えよ。

次のことで時間が空費された場合、前、後半それぞれ時間を追加する。

- 競技者の( 6 )
- 競技者の( 7 )の判断
- 負傷した競技者の治療のためのフィールドからの退出
- 時間の浪費
- その他の理由

空費された時間をどれだけ追加するかは( 8 )である。

## III. 以下は、「第12条 ファウルと不正行為」についてのものである。

1)直接フリーキックについて、( )に当てはまるものを競技規則の文章どおり答えよ。

競技者が次の7項目の反則を不用意に、( 9 )にまたは( 10 )で犯したと主審が判断した場合、直接フリーキックが相手チームに与えられる。

- 相手競技者をける、またはけろうとする。
- 相手競技者をつまづかせる、またはつまづかせようとする。
- 相手競技者に( 11 )。
- 相手競技者をチャージする。
- 相手競技者を( 12 )、または( 13 )とする。
- 相手競技者を押す。
- 相手競技者にタックルする。

次の3項目の反則を犯した場合も、直接フリーキックが相手チームに与えられる。

- 相手競技者を抑える。
- 相手競技者につばを吐く。
- ボールを( 14 )に手または腕で扱う(ゴールキーパーが自分のペナルティーエリア内にあるボールを扱う場合を除く)。

**2)警告となる反則について、( )に当てはまるものを競技規則の文章どおり答えよ。**

競技者は、次の7項目の反則を犯した場合、警告され、イエローカードを示される。

- 反スポーツ的行為
- ( 15 )による異議
- 繰り返し競技規則に違反する
- ( 16 )を遅らせる
- コーナーキック、フリーキックまたはスローインでプレーが再開されるときに規定の距離を守らない
- 主審の承認を得ず、フィールドに入る、または復帰する
- 主審の承認を得ず、意図的にフィールドから離れる

交代要員または交代して退いた競技者は、次の3項目の反則を犯した場合、警告される。

- ( 17 )
- 言葉または行動による異議
- プレーの再開を遅らせる

**3)退場となる反則について、( )に当てはまるものを競技規則の文章どおり答えよ。**

競技者、交代要員または交代して退いた競技者は、次の7項目の反則を犯した場合、退場を命じられる。

- 著しく不正なファウルプレー
- ( 18 )な行為
- 相手競技者またはその他の者につばを吐く
- 意図的にボールを手で扱い、相手チームの( 19 )または( 20 )の機会を阻止する(自分のペナルティーエリア内でゴールキーパーが行ったものには適用しない)
- フリーキックまたはペナルティーキックとなる反則で、ゴールに向かっている相手競技者の決定的な得点の機会を阻止する
- 攻撃的な、侮辱的な、または下品な発言や身振りをする
- 同じ試合の中で二つ目の警告を受ける

退場を命じられた競技者、交代要員または交代して退いた競技者は、フィールド周辺及びテクニカルエリア周辺から離れなければならない。

日本語版付録より

以下は、「審判員の目標と重点項目」に関するものである。

I. 3級審判員の審判員の目標について、( )に当てはまるものを日本語版付録の文章どおり答えよ。

適切な動きやポジショニング(対角線式審判法)によって、事実を見極め、的確な判定で、試合を( 21 )ことを追求する

II. 3級審判員に求められる知識・経験に関する重点項目について、( )に当てはまるものを日本語版付録の文章どおり答えよ。

サッカー競技の特徴および競技規則の( 22 )と適用の知識(ファウルの条件、懲戒罰など)、行うべきことと監視すべきことの実践的知識、審判報告書作成方法

III. 審判員に求められるパーソナリティーに関する重点項目について、( )に当てはまるものを日本語版付録の文章どおり答えよ。

サッカーの審判は人間によって行われる。4級審判員からプロ担当審判員まで、日頃培われたパーソナリティーがレフェリングに反映されることになる。試合に対して、常に誠意を持って、中立性、公正さを保ち、最後まで( 23 )を果たすよう努力をすることが必要である。

試合には積極的で( 24 )臨み、試合後は( 25 )し、外からのアドバイスをポジティブに受け入れ、オープンマインドの態度を心掛ける。また、日頃、競技者を含むサッカーを取り巻く人々、環境をリスペクトし、審判員として自覚と責任を持ち、社会的な常識に基づいて行動しなければならない。